



「のすっ子の  
未来を創る」  
鴻巣市議会議員  
野本恵司の  
議会報告

のもと恵司コミュニティー通信

# のもコミ

第6号

発行：のもと恵司後援会  
鴻巣市本町1-8-14  
発行日：2007/7/7

## 市民の生命を守る行政

まずは皆様のお力をいただき、野本恵司を市議会に送り出していただき、ありがとうございます。5月の臨時議会人事で文教福祉常任委員会に所属することになり、1期目ではありますが、副委員長をおおせつかりました。6月定例議会から本格的な議会活動となり、26日まで開催されました。まだまだ慣れないことばかりではありますが、悔いのない働きをしたいと念じ、精いっぱい努力してきました。市議会議員として初の「のもコミ」発行は、議会初体験の報告を含めてお伝え致します。

### 定例議会 一般質問

一般質問というのは、議員が行政活動について議会という正式な場で直接質問をして、市民の声を市政に反映していくことができるしくみです。

市議会では質問の仕方や回数に決まり（制限）があり、効率良く進行させるための工夫もされていて、より実を得るように作られています。おそらく、長い歴史のなかで積み上げられたカタチなのだろうと思います。かつては、1年生議員は初めての議会から質問に立つことはほとんどなかったようなので、私が今回質問に立たせていただいたことは先輩議員に感謝しております。

今回の質問者は議員30名中21名でした。

主な質問テーマをご紹介しますと、

- ★鴻巣駅東口再開発事業について
- ★吹上駅周辺の再整備について
- ★コミュニティーバスについて
- ★市民プールの存続について
- ★市議選挙の開票作業について
- ★市民の生命を守る行政について
- ★障がい福祉計画等について
- ★中山道歩道上の電柱移設について
- ★北新宿第二土地区画整理事業について
- ★介護保険制度充実について ほか



### 野本恵司の一般質問についてご報告

今回の一般質問では2つのテーマについて質問をいたしました。

- テーマ①「市民の生命を守る行政について」
- テーマ②「駅前再開発と商店街について」

私は、行政の基本的な役割は、市民の生命と財産と生活を守ることであると考えております。市民が、これらのものを守られて初めて安心して生活することができると思うからです。その中でも今回は「生命を守る」こと、特に救える命を救うこと、あるいは命の危険を防ぐことへの取り組みについて3つの点にスポットをあてて質問いたしました。救える命とは、工夫や仕組みをつくるによって命を失わずに済むようになるということで、特に突然死によって失われる命を、何とか救えないかという課題に取り組んでおります。3つの視点というのは「心臓突然死」「交通事故」「自殺問題」です。

心臓突然死は日本中で年間5万人と言われております。その中でもAED（自動体外式除細動器）の使用によって一般市民にも命を救うことができるようになりました。平成18年